

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		青少年の森管理運営事業				②事業番号		7614	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 53 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		〇 条例		〇 規則		要綱	
⑦実施手法		〇 直営		全部委託		一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		5	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		目	
								7	
								細目	
								1	
								会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
年間をとおしてキャンプ及びその他レクリエーションを行う場として貸付けを行っている。 利用開始 5日前までに生涯学習課にて受付し許可書を発行している。		① 利用件数		件	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
青少年が自然に親しみ、たくましい身体及び精神力を養い、規律ある生活体験、集団活動の中で、団体、愛情、組織の必要性を体得する。		① 安全に利用した利用者の割合		%	
		② 利用者数		人	
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
青少年の健全育成につながる。		政策(章) 1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち			
		施策大(節) 4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします			
		施策中 2 生涯学習内容の充実			
		施策小 1 活動・発表・交流の場と機会の提供			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	61,984	61,457	60,795	-	-	
対象指標②								
活動指標①	利用件数	件	58	62	53	60	-	
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	安全に利用した利用者の割合	%	100	100	100	100	-	
成果指標②	利用者数	人	2,727	2,400	674	2,385	-	
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.20	0.18	0.17	0.17		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	1,621	1,388	1,297	1,297		
	総事業費	千円	4,057	4,158	3,761	4,003		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	240	242	99	424		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,817	3,916	3,662	3,579		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	青少年の森は健全なキャンプ及びその他レクリエーションを行う個人又は団体 が利用でき、野外活動を通じ心身ともに健全な青少年育成のため自然生活体験 の場として設置された。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように 変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	自然体験やキャンプなどの貴重な体験ができることもあり、会社等の研修にも 利用されている。また、コロナ禍によるソロキャンプの需要が増加している。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

B

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞

イ	ア. 現状のまま継続 ↓ イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
b	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	令和元年10月に市外利用者の料金改定を行った。 利用者増のため施設の維持修繕を行いつつ、民間委託などを含めた施設の在り方について検討していく。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	施設の老朽化に伴う維持管理。広大な敷地の維持管理費用。